Acrobat アームタイプ

取扱説明書

Acrobat アームタイプについて

アクロバットアームタイプをご購入いただきましてありがとうございます。Enhanced Vision製品は、高品質で、便利に利用できるように設計されています。

この製品は視覚障害をお持ちの方々の読み書きの補助を目的に開発されました。
自在に可動するアームと、状況や好みに合わせた表示方法で、広範囲を拡大することが可能です。
また、RGB端子を備えているＰＣモニターや液晶ディスプレイに簡単に接続することができます。

ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。完全に機能を理解して頂くことにより、この製品の優れた特徴を最大限に活用することができます。

ご利用いただく上で大切なガイドです。

ご質問等がございましたら当社までご連絡ください。

目　次

安全にお使いいただくために

あなたの安全と、Acrobatアームタイプを効果的に使用するために、下記の注意をよくお読みになってください。

Acrobatアームタイプは、視覚に障害をお持ちの方々の生活の質を向上するために開発されました。活用できる範囲は、個人条件および視力障害のレベルに依ります。この製品で視力の改善や治療をすることは出来ません。詳細は、当社、または、専門家にご相談の上ご利用ください。

・製品をご使用になる際は、安定した水平な机や台の上に設置してください。不安定な台の上に設置した場合、怪我や製品の破損につながる恐れがあります。

・屋外での使用や水周り、急速な温度の変化、直射日光やヒーターの熱にはとても弱くなっております。安全な場所かご確認の上、設置をお願い致します。

・電力供給の損害を避けるために、電源コードをお使い下さい。

・絶対に分解しないでください。電気ショックの危険があります。不具合や修理については、当社までご相談ください。

Acrobatアームタイプを移動させる場合

・机やテーブルを横切ってAcrobatアームタイプを移動させるときは注意をしてください。電気コードまたはコネクターのケーブルを引っ張らないことを確かめてください。

Acrobatアームタイプのお手入れ

・システムを使用されていない場合、電源をオフにしてください。

・ Acrobatアームタイプを清潔にする前に、必ず電源をオフにしてください。

・乾いた柔らかい布で拭いてください。液体のクリーナーは使用しないでください。

・必要に応じて、Acrobatアームタイプのレンズの部分（図1参照）を、レンズ布でレンズガラスをきれいにしてください。

図１

安全にお使いいただくために

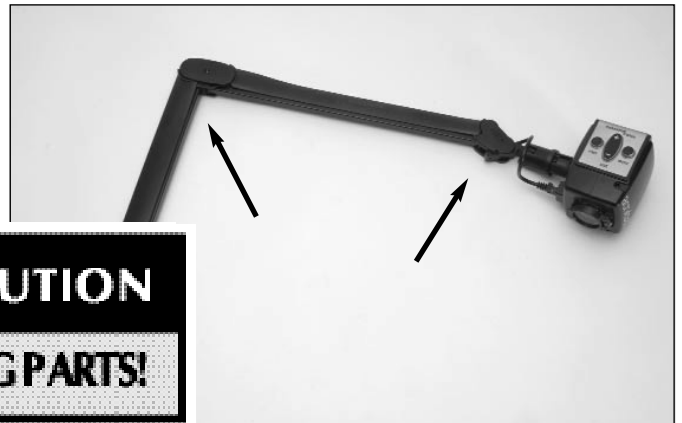
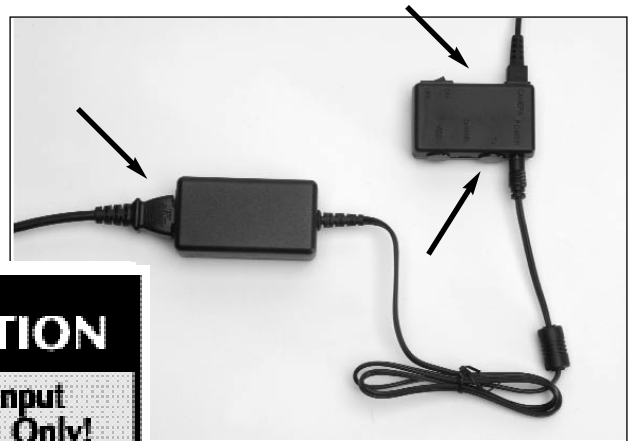
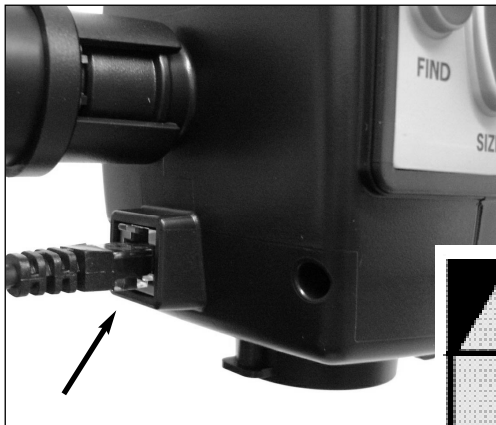
・製品に記録されるすべての警告、注意と指示に従ってください。

・コンセントは器材の近くに置いて電源コードを差し込んで下さい。

・水の近くで、Acrobatアームタイプを使用しないでください。いかなる種類の液体との接触からの保護は保証できません。

・可燃性液体の近くでAcrobatアームタイプを使わないでください。

・少なくとも週一回、乾いた柔らかい布でAcrobatアームタイプを拭いてください。液体のクリーナーは使用しないでください。

・この製品は、可動部分を含みます。アームを動かすときや運搬するときは、壊さないように注意してください。

・製品の破損を避けるために、下記の写真の中で示されるポイント以外をカメラ入力ジャックに接続しないでください。

感染からの妨害

Acrobatアームタイプが、強い無線周波数フィールド、静電気あるいは一時的な電気ノイズを受けた場合、イメージの一時的低下があるかもしれません。静電気に起因した時はスクリーンが真っ白になるかもしれません。この場合、ユニットをoffに切り替えてください。

注意

・電磁環境適合性：日本テレソフトによって指定されたもの以外の付属品およびケーブルの使用は、避けて下さい。故障の原因になります。

・設備の配置:Acrobatアームタイプを他の機器に積み重ねないでください。

Acrobatアームタイプ　パッケージ内容

作動のために必要な部品は、Acrobatアームタイプパッケージに含まれています。

Acrobatアームタイプは、以下のアイテムから成ります

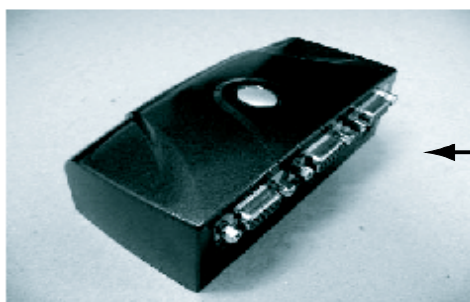
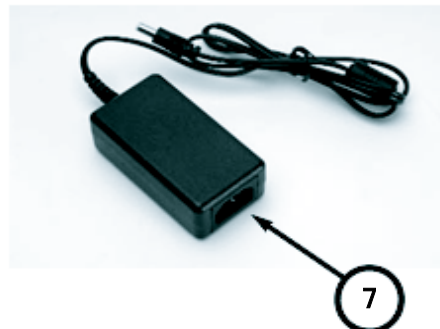
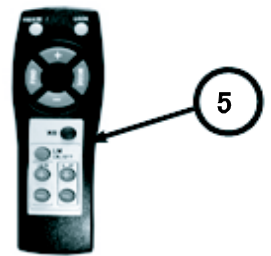
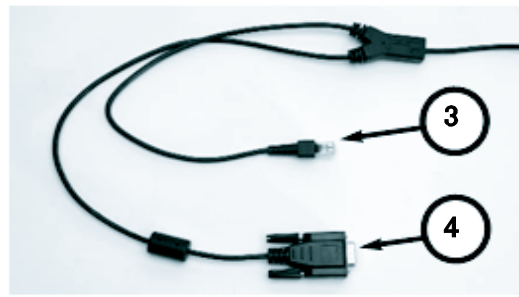
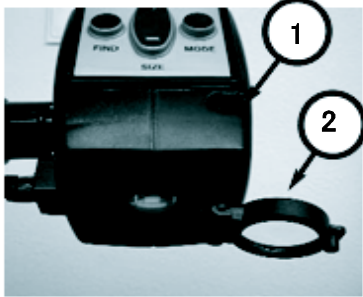
1. カメラ：画像を捉え拡大します。340 度回転可能
2. ズームレンズ：高度拡大に使用します
3. 電力コネクター（Yケーブル）：Power/コントロールボックスに接続しています
4. RGBコネクター（Yケーブル）：VGAモニター/表示につながります
5. リモコン:（電池付き）: 離れてAcrobatアームタイプが操作できます
6. Power /コントロールボックス：PowerとVGA”Y”ケーブルのための接続ポイント
7. ACアダプター
8. 電源コード

Acrobatアームタイプは以下を含みます

9. アーム：カメラが取り付けられる調節可能なアーム
10. 留め金：アームを台に安全に取り付けます

含まれないアクセサリー

11. VGAトグルボックス(オプション):Acrobatアームタイプの映像とコンピュータのVG映像を切り替えすることができます

Acrobatアームタイプパッケージ内容

留め金と台座の取り付け方法

1. Acrobatアームタイプロングアーム使用法
頑丈な机かテーブルに留め金を付けてください(図1参照)。

2.　留め金(図2参照)にアームの差込み口を挿入します。ねじりながら挿入すると、簡単です。

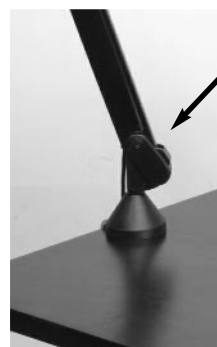



図 2

3. Acrobatアームタイプロングアーム使用法
マジックテープで止めていますので、外して下さい　(図3参照)。

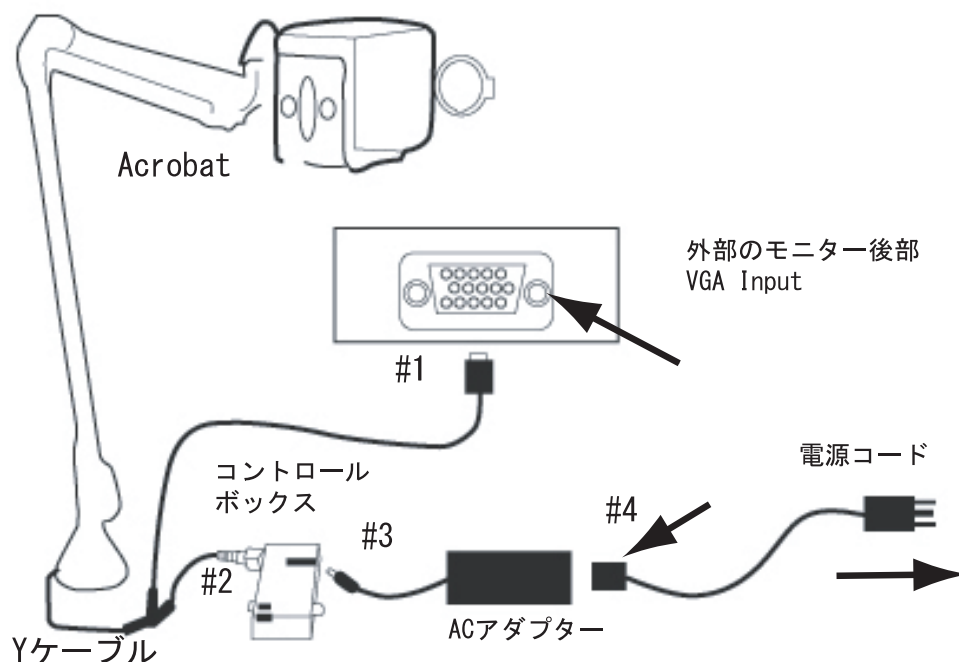
VGAモニターへの残りの接続方法については、次のページを参照してください

図 3

基本的なVGA &接続(図1参照)

Acrobatアームタイプおよびパワー接続の両方を作るために特に設計され統合された「Y」ケーブルを使用します。「Y」ケーブルの1つの端は、パワー/コントロールボックスに既に接続されています。「Y」ケーブルのもう1つの端はあなたの外部VGAモニター/ディスプレイに接続します。

適切な接続をするために下記の手順で実行してください。

1) 外部モニターかディスプレイの後部上のVGA入力へのVGA出力ケーブルの端を接続してください。
2) パワー/コントロールボックスの上のパワー入力に変圧器の先端を接続します。
3) 変圧器の入力に電源コードを接続してください。
4) 利用可能なAC本線出口に電気コードの残りの終了を接続してください。
5) Acrobatアームタイプ のON/OFFは、コントロールボックスの横にロッカースイッチを使用してください。

角度調整

Acrobatアームタイプのカメラは 340度回転します。この卓越した柔軟性は視覚障害者のためのものです。しかしカメラを340度以上に無理やり回さないでください。壊れる危険性があります。またカメラをまわすときアーム接合部にも気を配ってください。

Acrobatアームタイプは遠くのものや自分自身を見るとき、または読み書きをするときに使うことが出来ます。ビューイングのモードを変えるときはカメラを回転させて位置を替えます。

望遠モード

カメラを前方に回転させ人物、物、景色を捉えます。このビューイング角度に設定されると“Distance Viewing” のサインが画面の左上部分に現れます。ズームレンズが作動していることを確認して遠くを見ます。(図1参照).

この望遠モードは約１m先の対象を25倍にまで拡大して見ることができます。このモードにおいて、カメラは無限の距離で対象を見ることができますが、カメラから離れた対象までの推奨された距離は、1m～10m以内です(図2参照)。

図1

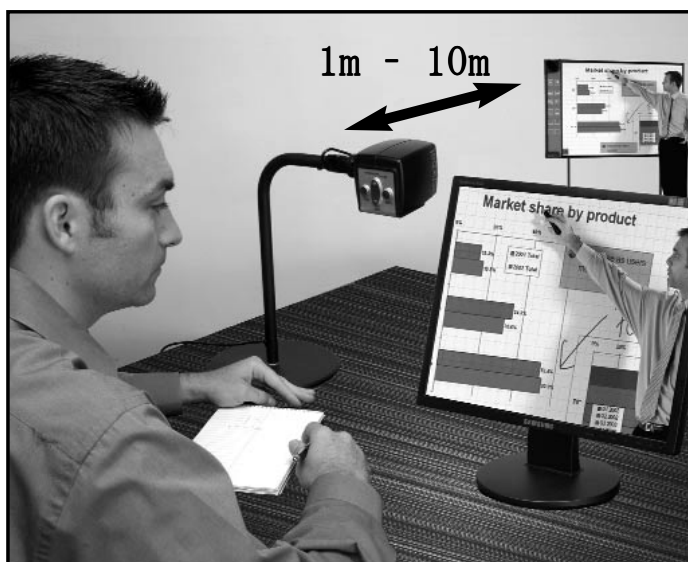



図2

鏡モード

カメラは後方に回転するので鏡代わりに使えます。このモードにすると、画面の左上部に“Self Viewing” の表示が現れます。あなたのお化粧、髭剃り、その他の個人的な衛生、身だしなみをお手伝いします(図1参照)。

最高の明確さを得るために、ズームレンズを使い、自分自身をカメラから30cm-70cm離します。

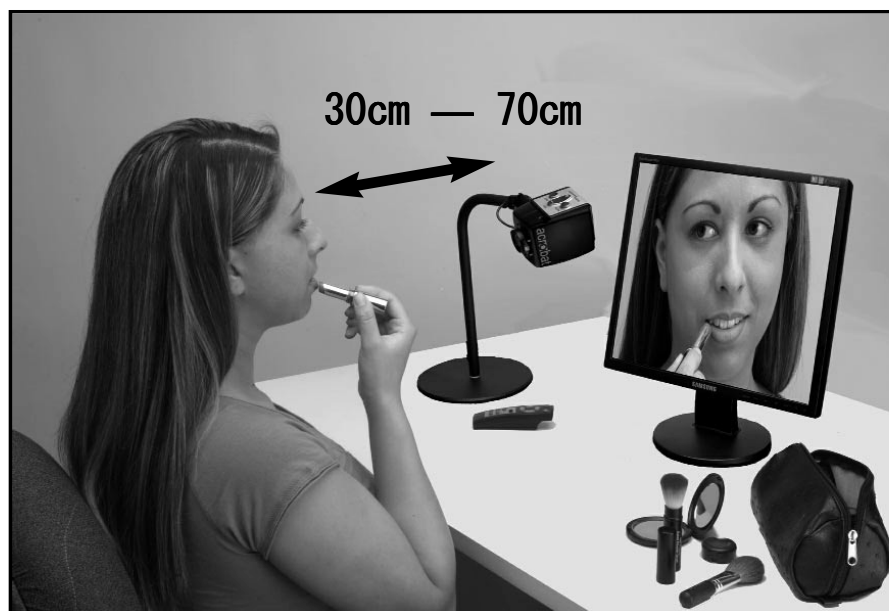
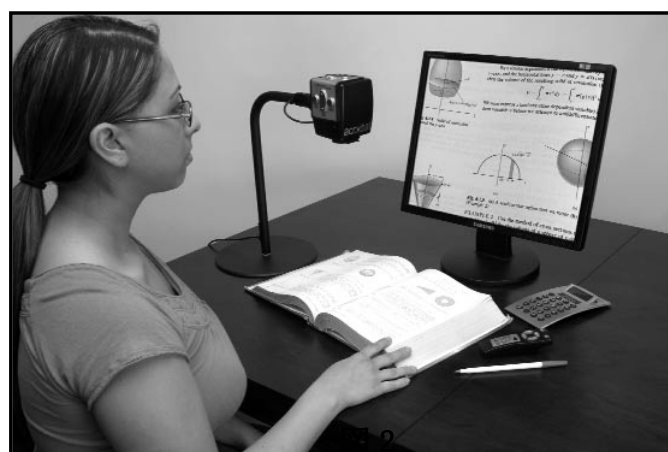
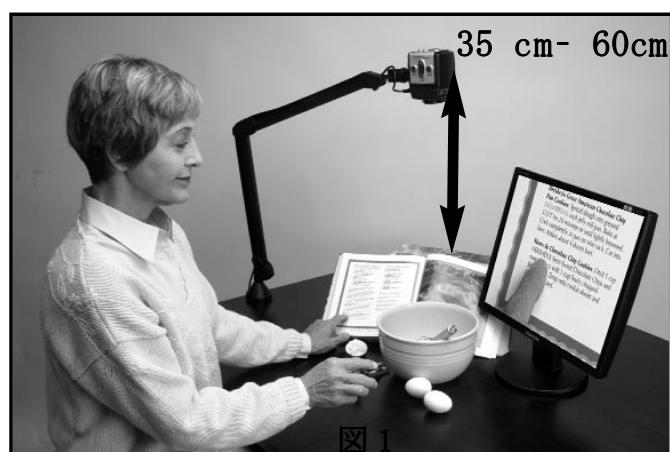



図1

アクロバットを使った読み書き

カメラは読み書き、工作やその他の趣味のために使うことができます。(図1参照)。教室で使用するのに最適です。カメラを下方にまわすと、画面の左上部に“Reading-Mode” の表示が現れます。
カメラと対象が約35cm - 60cm以内の場合、ズームレンズを使わない方が高画質で見ることができます。

図 1

図 2

倍率の調整

アクロバットは大きな倍率への拡大が可能です。以下の手順に従ってリモコン又はカメラから操作してください。(図1& 2参照).

1. リモコンまたはカメラの「+」か「-」ボタンをちょうどいい倍率になるよう押し続けて調節します。

2. 倍率を拡大していく時「ZOOM IN」という表示が画面左上隅に現れます。最大の倍率になったとき「MAX ZOOM」という表示が現れます。倍率を下げていくと「ZOOM OUT」の表示が画面左上隅に現れ、最小の倍率になったときに「MIN ZOOM」と表示されます。

注: 拡大の限界はカメラと対象との距離によります。

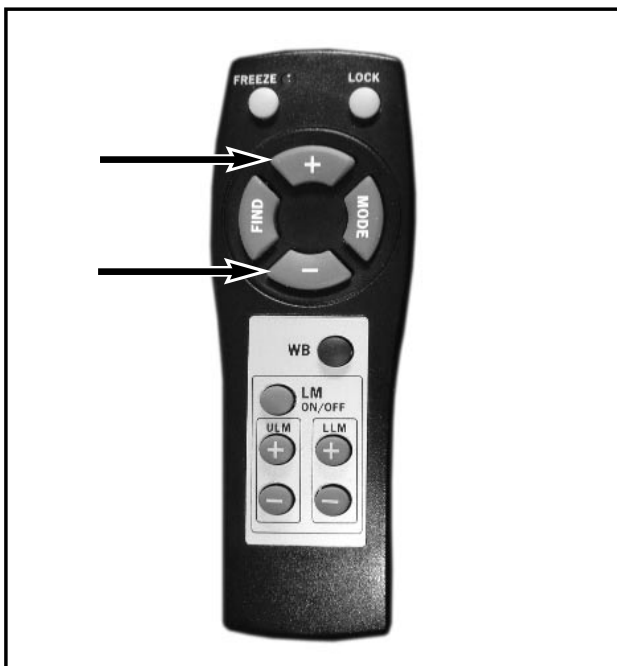



図 1

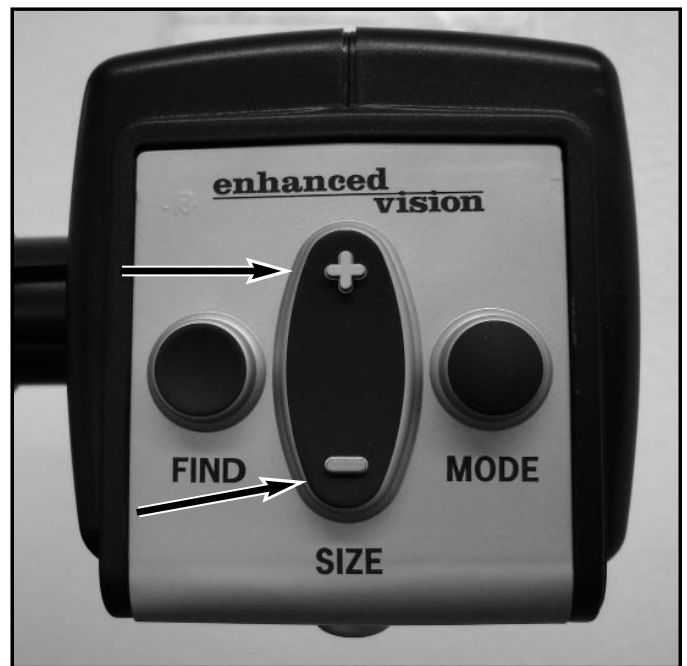



図2

モードを変える

アクロバットは特定の視覚事情を持った人々に、文字と背景両方の色の組み合わせがいくつか選べることで、最適な視覚を用意できるよう設計されています。加えて、それぞれの視覚のためにモードが選択できます。リモコンまたはカメラを使って以下の手順で操作できます。

モードを調節

1. リモコンまたはカメラのモードボタンを押してモードを選択します。(図 1 & 2 参照).
2. ボタンを押すごとに 7 つのモードを循環します。(次頁参照)。

図 1

図 2

モード

フルカラー画像

拡大された画像のフルカラー表示。

白黒画像

拡大された画像の白黒表示。

白黒強化画像

白地に黒文字モード。

コントラストが強くくっきりとした文字で

読みやすい。

白黒反転画像

黒地に白文字モード。

コントラストが強くくっきりとした文字で

読みやすい。

くっきり、
はっきり
文字画像！

白黒強化画像

くっきり、
はっきり
文字画像！

白黒反転画像

カラー選択　1

青地に黄文字モード。一般的にもっともよく使われる色の組み合わせの１つ。

カラー選択 2

黒地に緑文字モード。

カラー選択 3

黒地に黄文字モード。一般的にもっともよく使われる色の組み合わせの１つ。

リモコンを使って白バランスの調節
白色は室内照明の影響を受けやすいのでアクロバットの白バランス調節が最適な明確さをお届けします。

白バランス調節は以下の指示に従ってください。
１．リモコンの白バランス「ＷＤ」ボタン（図１参照）を押すと２秒ほどで起動します。
２．１の動作を繰り返し以下の４つの設定をします。
a.「 W.B.」「Auto」 室内照明にあわせて自動調節します。
b. 「W.B.」 「Warm」 赤系色に調節します。
c. 「W.B.」「Normal」 バランスのとれた色合いに調節します。
d. 「W.B.」「Cool」 青系色に調節します。

図１

カメラを使って白バランス調節

カメラでの白バランスの調節は以下のように行ってください。

1. モードボタンを 5 秒間押し続けて メニューを開きます。
2. 「+ 」のボタンを押してスクロールし、“2. White Balance”を選択します。
3. モードボタンを押して白バランス機能を開始します。
4. 「 +/- 」のボタンを押して 4 つの設定を行います。
5. モードボタンを押してこの機能を終了します。

ENTERING SETUP

2.White Balance

1.WHT BAL AUTO
2.WHT BAL WARM
3.WHT BAL NORMAL
4.WHT BAL COOL
ENTERING SETUP

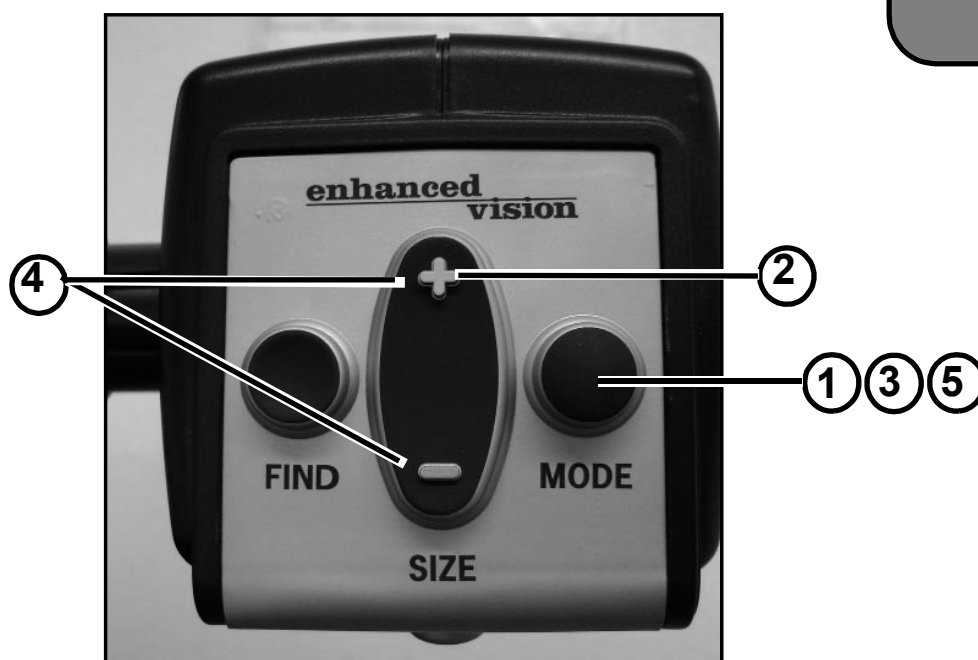



図 1

リモコンでラインマーカーを使用
ラインマーカーは2本の横線で、画像を枠に入れるのに使います。この線は長い文章を読むときのしるしとして、例えばページの一部分から別の部分に移るとき自分の読んでいる箇所を表示、または単に筆記を助けるなどに使用します。

リモコンでラインマーカーは以下のように着脱します。
1. “LM ON/OFF” ボタンを最低一秒は押し続けてラインマーカーを起動又は終了します。
2. 上のラインマーカーを動かすときは“ULM+/-” ボタンを押します。
3. 下のラインマーカーを動かすときは “LLM+/-” ボタンを押します。
4. “LM ON/OFF” ボタンを最低一秒押してラインマーカーを削除します。

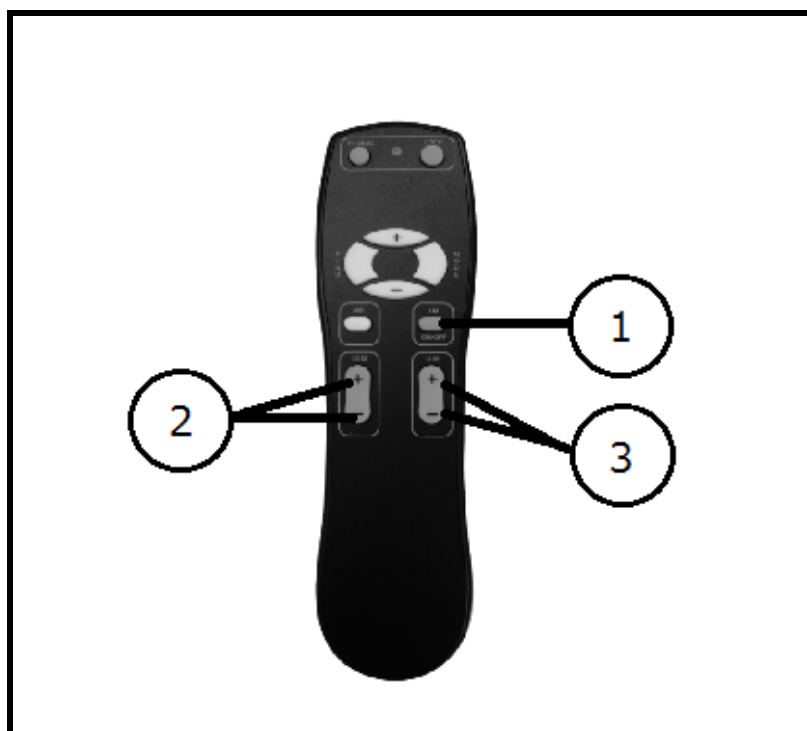



図 1

カメラでラインマーカーを使用

以下の指示に従ってカメラからラインマーカーの選択をしてください。

1.　モードボタンを最低5秒は押し続けて“Entering Setup”　メニューを開始します。

2. メニューは自動的に“1. Line Markers On”または“LM On”を表示します。

3. 「モード」ボタンを押します。

4. メニューは“1. Line Makers Off”または　“LM Off”を表示します。

5. 「-」ボタンを押してラインマーカーを起動します。画面は“1. Line Markers On”を表示します。

6. 「モード」ボタンを押すとメニューは“2. Upper Marker ADJ”または“Top Marker”を表示します。

7. 「+/-」ボタンを押して上のラインマーカーを上げたり下げたりします。

8. モードボタンを押して上のラインマーカーを設定します。

9. メニューは“3. Lower Marker ADJ”または“Bottom Marker”を表示します。

10.　「+/-」ボタンを押して下のラインマーカーを上げたり下げたりさせます。

11.　モードボタンを押して下のラインマーカーを設定します。

12.　1から3を繰り返してラインマーカーを削除します。

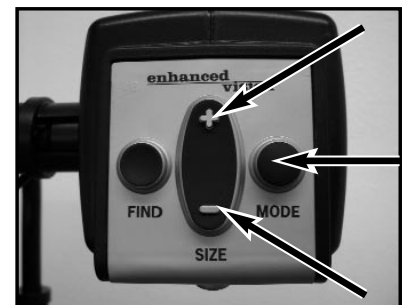
13.　「+」ボタンを押して“1. Line Markers Off”メニューまたは“LM Off”に戻ります。

14. モードボタンを押してメニューを終了します。

ENTERING SETUP

1.Line Markers

2.Upper Marker ADJ
or
3.Lower Marker ADJ

図1

左のモードあるいは右手モードのセット

初期設定では、Acrobatアームタイプを対象物の左側に置くことを想定しています。この配置は右利きのユーザー用になっています。（図１参照）

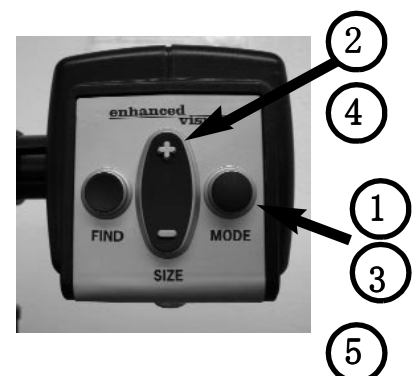
図 1

設定を変更するとAcrobatアームタイプは、対象物の右側に置くこともできます。この配置は左利きユーザー用になっています。(図2参照)

図 2

対象物を読んだり書いたりする右側にAcrobatアームタイプを置く場合､正しく表示するために、以下の手順を実行してください。

1. 最初に、5 秒間[MODE]ボタンを押し続け、“Entering Setup”メニューを表示。
2. [+]ボタンを押してスクロールし、“3. Left Hand Mode”を表示する。
3. 左手モードを On/Off するために [MODE]ボタンを押してください。
4. 左手モード On/Off するために、[+]ボタンを押してください。
5. 通常動作へ戻すために、[MODE]ボタンを押してください。

電源を切った後は、最後に設定したモードが記憶されます。

対象位置表示装置（FIND）の使用法

Acrobatアームタイプ対象位置表示機能はあなたがページ上で探しているものの位置やもっと詳しく見たい対象の特定部分をすばやく見つける手助けをします。

以下の手順に従ってリモコンやカメラで探している対象の位置を見つけることができます。

1. リモコンの「FIND」 ボタン(図１参照) またはカメラ (図2参照)の「FIND」ボタンを押し続けます。Acrobatアームタイプが自動的に最大画像にズームアウトし「ターゲット」(図3参照)が画面の中心に現れます。

2. あなたが作業している物、または読んでいるものを「ターゲット」の場所まで移動させます。

I---I

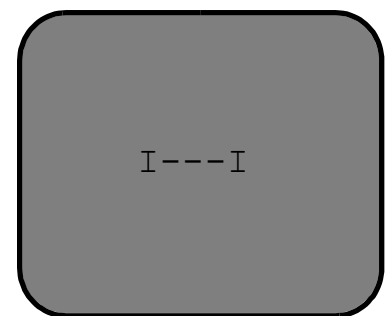



図3

3. 「FIND」ボタンを離すと「ターゲット」周辺が拡大されます。

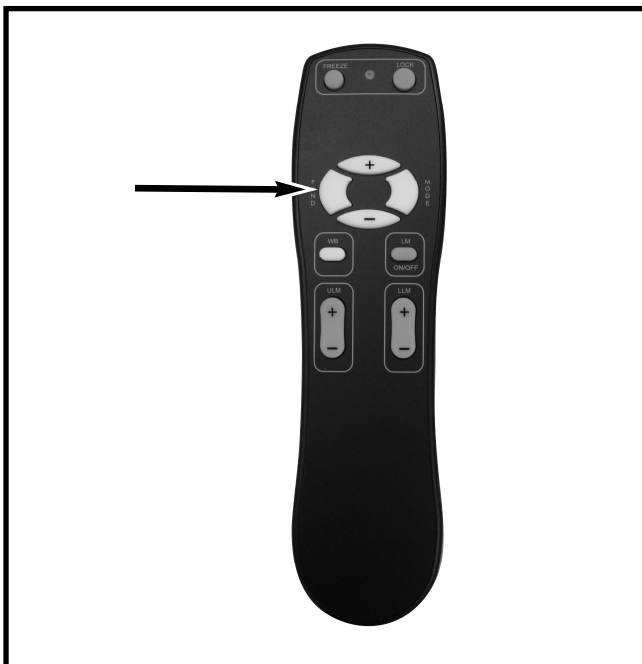



図1

図2

リモコンで高度焦点固定を操作

アクロバットを起動すると自動的に自動焦点になるが、これは本の中の一ページや、瓶にはられた処方箋を読んだり、芸術や工芸品を作ったりする日常生活のなかでもっとも便利な設定です。

「フォーカスロック」を使うと 筆記の際など、特定の対象に焦点を同じ距離で維持することができます。アクロバットの高度焦点固定機能は拡大サイズを変えたあとも自動的に同じ対象に焦点を再び合わせてくれます。アクロバットはカメラの枠に自分の手が入っても書いているものの方に焦点を合わせ続けています。

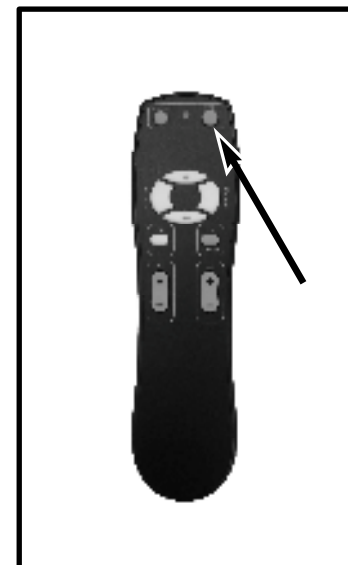



図 1

以下の手順で高度焦点固定機能をリモコン操作できます。

1. ノート、文房具、小切手帳または他の筆記用具をテーブルの上に置きます。
2. リモコンの“LOCK”ボタンを押します。（図 1 参照）
3. 画面の左上隅に″JIDO SHOTEN OFF″の文字が現れます。（図 2 参照）
4. リモコンの “LOCK”を押すとオートフォーカスにもどります。（図 1 参照）
5. 画面の左上隅には文字が現われません。（図 3 参照）

図 2

図 3

カメラで高度焦点固定を作動
以下の手順で高度焦点固定機能をカメラで操作できます。

1. ノート、文房具、小切手帳または他の筆記用具をテーブルの上に置きます。

2. カメラの「ＦＩＮＤ」と「MODE」の両ボタンを同時に最低一秒押して「フォーカスロック」を起動させます。（図1参照）

3. 画面の左上隅に″FL″の文字が現れます。（図２参照）

4. カメラの「FIND」と「MODE」の両ボタンを同時に最低一秒押して「オートフォーカス」に戻します。(図1参照)

5. 画面の左上隅に″AF″の文字が現れます。（図3参照）

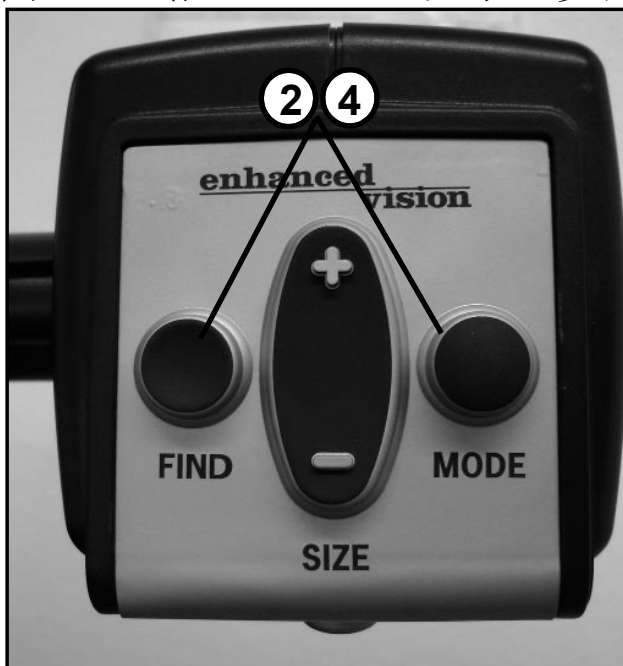



図 1

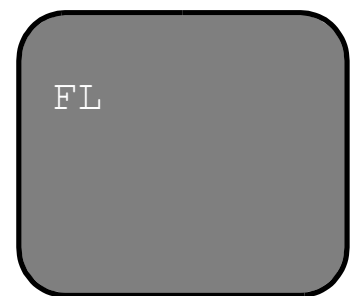



図 2

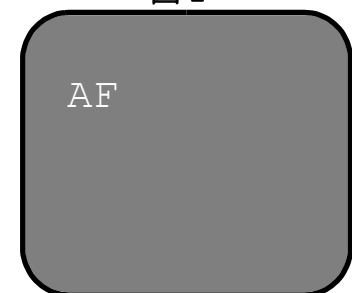



図 3

フリーズ機能を使う

画像を少し長い時間見ていたいときには「フリーズ」機能を使って、Acrobat アームタイプの拡大したイメージをスナップショットにとることができます。この機能は教室でノートを取っているときなどに便利です。

以下の手順でリモコンを「フリーズ」モードを操作します。
（リモコンのみ)
1.「フリーズ」キーを最低2秒押し続けます(図１参照)

2.画像又はビデオは動作を停止し画面左上隅に「フリーズ」表示が出ます(図2参照)
どれかのキーを押すか視角度を変えて、「フリーズ」モードを解除します。

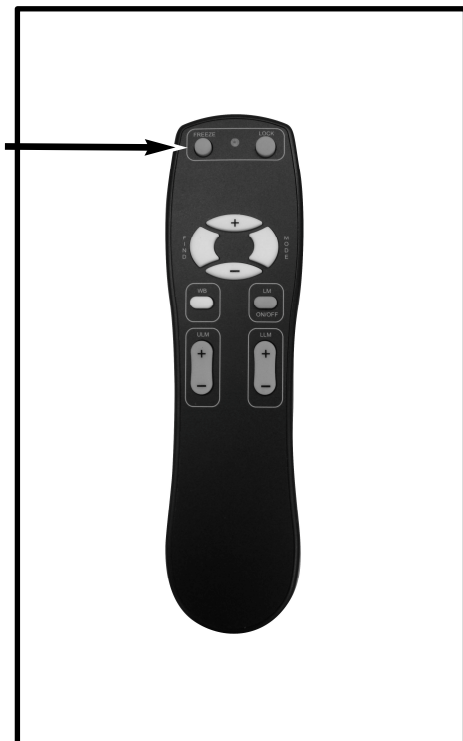



図１

図2

Q.Acrobatアームタイプのお手入れ方法は？
A. 最低週一回、柔軟な乾燥した布でAcrobatアームタイプを清潔にしてください。液体のクリーナーは絶対に使用しないでください。

Q.リモート・コントロールが機能しません
A. 新しい電池に入れ替えた後、出荷時設定にリセットしてください。最低3秒間、リモコンの[FIND]および[MODE]ボタンを押し続け、LEDを点滅させてください。その後、リモート・コントロール機能の通常動作を試みてください。

Q. コンピューターとAcrobatアームタイプを共有することは出来ますか?
A. Acrobatアームタイプはコンピューター画像を拡大しませんが、どんなケーブルでも分離する必要なく、あなたの外部VGAモニターをAcrobatカメラかコンピューターと共有することは可能です。VGAトグルボックスは、一つの液晶ディスプレイでアクロバットの画面とPC両方の画面をスイッチで変えることができます。詳細は当社までお問い合わせください。

Acrobat アームタイプの仕様

製品について:

　寸法：81.3cm (H) x 10.1cm(W) x 8cm(D) (アーム拡張時)
　重量：1.6 kg (VGA ロングアーム、カメラ含む)
　作業時温度範囲: 10-40° C / 50-104° F
　保管/輸送時温度範囲: 0-60° C / 32-140° F

カメラ: 移動式CCD、オートフォーカス(アナログVGA出力)
ディスプレイ: 付属の標準外部VGAモニター、解像度1024x768@ 60Hz

拡大範囲:

　2.7倍から68倍
　視界(近距離モード): 15cm(最短)-60cm (最長)
　作動距離(近距離モード): 40cm

閲覧モード:

　モノクロ、ハイコントラスト、白黒反転、デジタルカラー (3モード)

電源:

　入力　電圧/電流：120-240 VAC / 0.3-0.5A (標準時)
　出力　電圧/電流：15 VDC / 1.2A (標準時)
　周波数：60/50 Hz
　電力消費：60W (標準時)

保証期間: 2年

Enhanced Vision 保証規定

- Enhanced Vision 社の製品は、高い品質の画像、便利な機能、簡単な操作、信頼性のあるサービスを提供しております。
- Acrobat LCD は、出荷前に品質検査とテストを行っております。
- ㈱日本テレソフトは、正常な状態で使用したと認められたときに故障が発生した際は購入日から２年間の保証をします。
- その場合、無料修理を行うか交換するかは㈱日本テレソフトが判断致します。

ただし以下のことは保証外になります。

１．使用上の誤り、落下などの事故などによる故障
２．不当な修理や改造による故障および損傷
３．食べ物や飲み物などの液体をこぼしたことによる故障
４．通常の使用により生じる Acrobat LCD 本体表面など外側にできる傷
５．Enhanced Vision が提供した以外の機器をつかっての操作による故障
６．火災、地震、水害、その他の天災地変。公害や異常電圧による故障及び損傷

注意：保証サービスを受けるために、購入日、保証書を必ず保管ください。

修理をご希望の方は、下記にご連絡ください。

株式会社　日本テレソフト
福祉機器事業部
〒102-0083
東京都千代田区麹町 1-8-1 半蔵門ＭＫビル１階
ＴＥＬ：　03-3264-0800
ＦＡＸ：　03-3264-0880
E-mail：ts-info@telesoft.co.jp
URL：http//www.nippontelesoft.com

購入時の梱包箱は、修理が必要になったときのために保管ください。